



## 前橋・馬場川通り

「めふく。」をキャッチフレーズにまちづくりが進む前橋市で、市民による新たな活動が芽吹いている。中心街の馬場川通り沿いには、市民有志の尽力により人気の喫茶店「ブルーボトルコーヒー」の出店が決まった。馬場川通りは公共空間ながら、市民グループが民間資金で歩道を改修する珍しい取り組みが始まっており、メンバーが「どんな通りにするべきか」と将来像を話し合っている。寂れつつあった街に幅広い市民の力が結集し、かつてない可能性が広がっている。（斎藤洋一）



市民によるまちづくりの舞台となっている  
前橋市の馬場川通り

## 人気の喫茶店誘致 寄付金で歩道改修

「ブルーボトル」は洗練された店舗デザインが特徴で、「コーヒー界のアップ

ル」といわれている。国内では東京都や神奈川県、京都市など大都市の雰囲気の

良い街に出店している。そこで9月下旬、前橋市の店舗が加わる。市民による情熱的な誘致活動の成果だ。

起業家を養成する2016年度の群馬イノベーションアワード（GIA）で入賞した佐藤拓さん（50）と同市役所と、共に同市出身の長谷部辰雄さん（45）、千場諒さん（33）の3人が「GIVE」を起業。それぞれ本業を別に持つが、「地元を盛り上げたい」と考え、市街地に開業したデザイン性の高い白井屋ホーテルのテナントとしてブルーボトルの誘致を決意。昨年12月に同社の国内責任者を招いて、街の動きや再生への思いを直接伝えると、同社の理念と合致して異例の急展開となつた。

GIVEが事業主として運営パートナーとなる珍しい形態。最高経営責任者の佐藤さんは「用事がなくて

いい街に出店している。そこには「工事をして終わらではなく、その後の維持管理やイベント開催時の運営も大事」と、長期の視野に立って人材育成に努めて

いる。MDCの日下田伸企画局長（55）は「工事をして終わら

りではなく、その後の維持管理やイベント開催時の運営も大事」と、長期の視野に立って人材育成に努めて

いる。MDCの日下田伸企画局長（55）は「工事をして終わら

りではなく、その後の維持管理やイベント開催時の運営も大事」と、長期の視野に立って人材育成に努めて

いる。MDCの日下田伸企画局長（55）は「工事をして終わら

## 新店次々、街に刺激

全国の地方都市と同様に、前橋市の中心街も人通りは少ないが、近年は人気店が相次ぎ出店し、店舗前に行列ができる光景が日常的になつてきている。

馬場川通りと中央通りの交差点近くに飲食の3店が並ぶ。「グラッサ」は米・ポートランド発の手作りパスタ店。菓子店「なか又」はふわふわ生地の創作菓子が人気。和食店「つじ半」はウニやイクラが山盛りの

海鮮丼が売り。食の分野は異なるものの、互いにしおぎを削り、街の魅力を高めている。

前橋中央通り商店街振興組合の大橋慶人理事長（62）は「3店とも個性的で魅力的。周囲の老舗に新しい客が訪れ、いい刺激が伝わっている」と歓迎している。